

平成26年 第2回 能勢町議会定例会報告

第2回定例会に提出された案件は、下記のとおり決定しました。
日 程 6月16日～6月18日

報告 第 4 号 繰越明許費繰越計算書について「平成25年度能勢町一般会計予算」 報 告

報告 第 5 号 事故繰越し繰越計算書について「平成25年度能勢町一般会計予算」 報 告

議案 第 29 号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 原案可決
賛 否

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	原田健志	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	長尾義和	美谷芳昭	山本光晴
×	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	議 長

議案 第 30 号 能勢町火災予防条例の一部を改正する条例について 原案可決
賛 否 全員賛成

議案 第 31 号 平成26年度能勢町一般会計補正予算(第1号)
(P2参照)

議案 第 32 号 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて 同 意
賛 否 全員賛成

議会議案第2号 能勢町農業委員会委員の推薦について 推 薦
賛 否 全員賛成

議会議案第3号 能勢町農業委員会委員の推薦について 推 薦
賛 否 全員賛成

議会議案第4号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書について 原案可決
賛 否 全員賛成

議会議案第5号 平成26年度能勢町一般会計補正予算(第1号)に対する附帯決議
(P2参照)

請 願 第 1 号 集団的自衛権行使に関する請願書 不 採 択
賛 否

木戸俊治	福中 満	中植昭彦	大平喜代江	原田健志	西河 巧	大西則宏	長尾義信	中西顕治	長尾義和	美谷芳昭	山本光晴
×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	×	議 長

注:議長は、採決に加わりません。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

我が国においてウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているのは、国の責めに帰すべき事由によるものであることは、肝炎対策基本法や特定フィブリノゲン製剤及び特定血液凝固第Ⅸ因子製剤によるC型肝炎感染被害者を救済するための給付金の支給に関する特別措置法、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法でも確認されているところであり、国の法的責任は明確になっている。

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療が、B型・C型肝炎ウイルスの減少を目的とした抗ウイルス療法であるインターフェロン治療とB型肝炎の核酸アナログ製剤治療に限定されているため、医療費助成の対象から外れている患者が相当数にのぼる。特に、肝硬変・肝がん患者は高額な医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

また、現在は肝硬変を中心とする肝疾患も身体障害者福祉法上の障害認定(障害者手帳)の対象とされているものの、医学上の認定基準がきわめて厳しいため、亡くなる直前でなければ認定されないといった実態が報告されるなど、現在の制度は、肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していないとの指摘がなされているところである。

他方、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の制定時(平成23年12月)には、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援の在り方について検討を進めること」との附帯決議がなされた。しかし、国においては、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっており、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。よって、本議会は、下記事項を実現するよう強く要望する。

記

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月18日

大阪府:能勢町議会

送付先:衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・厚生労働大臣